



2020年1月30日

各位

上場会社名 エステー株式会社
代表者 代表執行役社長 鈴木 貴子
(コード番号 4951 東証第一部)
問合せ先責任者 執行役 吉澤 浩一
(TEL 03 - 3367 - 6314)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年4月25日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

(1) 2020年3月期通期連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	49,500	2,900	2,850	1,800	81.40
今回修正予想 (B)	47,000	3,100	3,000	1,950	88.13
増減額 (B - A)	△2,500	200	150	150	
増減率 (%)	△5.1	6.9	5.3	8.3	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	47,782	2,839	2,722	1,803	81.66

(2) 2020年3月期通期個別業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	45,500	2,500	1,800	81.40
今回修正予想 (B)	43,500	2,750	1,950	88.13
増減額 (B - A)	△2,000	250	150	
増減率 (%)	△4.4	10.0	8.3	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	43,946	2,523	1,649	74.67

2. 修正の理由

(1) 連結業績

売上高につきましては、サーモケア（カイロ）において消費税増税の影響により売場の立ち上げが遅れたことや、前期を上回る記録的な暖冬の影響が通期においても見込まれるため、当初の販売予想を大幅に下回る見込みとなりました。

一方利益につきましては、第3四半期までに主力カテゴリでのコストダウンや栃木工場稼働に伴う生産効率化により原価低減が図れたことによる売上総利益の増加や、一部マーケティング費用の発生がずれ込んだことによる販売費及び一般管理費の減少により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はともに前回予想を上回る見込みとなりました。

第4四半期においては、ずれ込んだマーケティング費用が発生する他、主力品の生産設備導入に伴う生産調整による製造原価の上昇が見込まれますが、通期においても前回予想を上回る見込みとなったことから、業績予想を上記のとおり修正いたします。

(2) 個別業績

連結業績と同様の理由により前回予想を上記のとおり修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上